

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35102	カレッジ英文法 College English Grammar	西川裕子		専門	1	選択	1・2前期
科目の概要							
この授業では、英語の基礎文法を学びます。英語と日本語は、文の構造が異なるので、単語を羅列しても通じないことが多いです。聞く・読む・書く時にも文法は大切になってきます。ここでもう一度、英語の基礎を頭に入れて、ステップアップを目指しましょう。また、言葉は文化なので、言葉を通しての異文化理解にも努めたいと思います。英語の基礎と文化の違いを学びながら、合わせて社会人基礎力とpisa型学力の発揮方法、建学の精神の実践方法を修得し、自分の可能性を広げましょう。この授業は、ディプロマ・ポリシーの①②④⑤に相当します。							
学修内容			到達目標				
① 英語の基礎文法を理解する。 ② 英語の基礎文法を使って、英語の文を作る。 ③ 英語と日本語の違いや、英語圏と日本の文化の違いを学ぶ。 ④ 授業とともに予習・復習をしながら、学習習慣を身につける。 ⑤ 努力の結果として、英語の知識を増やす。			① 英語の基礎文法を理解できるようになる。（ディプロマポリシー②） ② 英語の基礎文法を使って、英語の文を作ることができるようになる。（ディプロマポリシー⑤） ③ 言葉や文化の違いを念頭に置きながら、英語を使うことができるようになる。（ディプロマポリシー①②④⑤） ④ 授業に真面目に取り組み、予習・復習などの学習習慣をつけることができる。（ディプロマポリシー①②④⑤） ⑤ 前回の授業時よりも英語の知識を増やしていくことができる。（ディプロマポリシー①②④⑤）				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	・ 予習・復習をしっかりと行うことができる。 ・ 英語の文法を理解して使えるようにするために、努力することができる。 ・ pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	・ 小テストに備えて、復習を行い、準備をすることができる。 ・ 授業内の課題、予習・復習、宿題などを着実にを行うことができる。					
考え抜く力	課題発見力	・ その時間に何を覚え、何を行うべきかなど、課題を見定めることができる。 ・ 自分にとっての課題を認識することができる。					
	計画力						
	創造力	・ 日本語の枠を越えて、英語の考え方に想いをめぐらせることができる。 ・ ある英語表現を使うシチュエーションを考えることができる。					
チームで働く力	発信力	・ 聞き手を意識して、相手の目を見て（アイコンタクト）、はっきりと話すことができる。 ・ 全員で発話する機会、個人で発表する機会があれば、しっかりと発信を行うことができる。					
	傾聴力	・ 集中して、他者の説明や発表を聴くことができ、聴いたことを生かすことができる。 ・ 指示をよく聞いて、作業を行うことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：水島孝司、Duncan Butland、Roger Pattimore「Everyday English Grammar 《Fourth Edition》（大学生のためのコミュニケーション英文法 《改訂4版》）」南雲堂、2023年。2,200円（税別） プリントも適宜配布します。 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：トラベルホームステイイングリッシュ、TOEICリスニング、TOEICリーディング 資格との関連：なし							
学修上の助言			受講生とのルール				
授業に関わって行ったことは全て評価対象とするので、予習の宿題などがあったら、必ずやるようにしましょう。また、復習についても、ミニテストを行うことで評価します。 欠席をして行わなかった課題やアクティビティがあると、その分点も下がります。欠席はしないようにしましょう。			授業に積極的に参加してください。 基本的なルール（無断欠席、遅刻、居眠り、私語をしないなど）を守ってください。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておきましょう。 高校の時に使っていた英語の辞書や文法書が役に立つので、持ってくると思います。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓		授業で習った文法事項や例文の内容が理解できた結果として、問題を解くことができる（正答することができる）。 ＊学期末試験では、pisa型学力の③「獲得した知識・情報等の資源を活用して課題を解決する力」が発揮できているかどうか判断される。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平常評価	小テスト	50	①	✓		小テスト、宿題、課題などにより、平常の努力を評価する。 ＊毎週の小テストの点数の平均、クラスルームや紙の宿題の提出状況を中心に、課題の行い方、復習の程度、知識の定着度なども加味する。 ＊小テスト、宿題、課題としては、pisa型学力の①②③「知識・情報等の資源を獲得する力、活用する力、ならびに、活用して解決する力」が発揮できているかどうかを評価できるものを出す。 ＊小テストの出題範囲は、一つ前の授業の最後に伝える。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		レポート	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		(主体性)・予習・復習をしっかり行うことができる。 ・英語の文法を理解して使えるようにするために、努力することができる。 ・pisa型学力が上がるように、進んで努力することができる。 (実行力)・小テストに備えて、復習を行い、準備をすることができる。 ・授業内の課題、予習・復習、宿題などを着実に実行することができる。 (課題発見力) ・その時間に何を覚え、何を行うべきかなど、課題を見定めることができる。 ・自分にとっての課題を認識することができる。 (創造力)・日本語の枠を超えて、英語の考え方に想いをめぐらせることができる。 ・ある英語表現を使うシチュエーションを考えることができる。 (発信力) ・聞き手を意識して相手の目を見て（アイコンタクト）ははっきりと話すことができる。 ・発信を行うことができる。 (傾聴力) ・集中して、他者の説明や発表を聴くことができ、聴いたことを生かすことができる。 ・指示をよく聞いて、作業を行うことができる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)は①宿題・課題の期限を守って全部行うことができていること、②小テストを毎回受けて、平均90点以上とることができていること、③期末試験で90点以上をとることができていること。 A(優)は①宿題・課題の期限を守って全部行うことができていること、②小テストを毎回受けて、平均80点以上とることができていること、③期末試験で80点以上をとることができていること。	B(良)は①宿題・課題を全部行うことができていること、②小テストを受けて、平均70点以上とることができていること、③期末試験で70点以上をとることができていること。 C(可)は①宿題・課題を全部行うことができていること、②小テストを受けて、平均60点以上とることができていること、③期末試験で60点以上をとることができていること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・英語の動詞について学ぶ。(be動詞と一般動詞の現在形) ・時制を理解する(1)。 ・英語と日本語の文の構造の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・演習 (Googleクラスルーム上の課題や配布された課題を行う。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞と一般動詞の違いを理解できる。 ・時制としての現在形を理解できる。 ・be動詞と一般動詞で、現在形の疑問文と否定文を作ることができる。 	(復習)教科書のUnit1とUnit2の文法事項を確認する。 (予習)・Unit3、4の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形について学ぶ。(be動詞と一般動詞の過去形) ・時制を理解する(2)。 ・一般動詞の規則変化について学ぶ。 ・英語と日本語の文の構造の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞と一般動詞の過去形(特に規則変化)の文の作り方を理解できる。 ・時制としての過去形を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit3、4を復習し、文法事項を確認する。 (予習)・Unit5、6の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形(特に不規則変化)と命令文、There is(are)～の使い方について学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形(特に不規則変化)と命令文、There is(are)～の文の作り方を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit5、6を復習し、一般動詞の過去形(特に不規則変化)と命令文、There is(are)～の文の作り方を確認する。 (予習)・Unit7、8の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	<ul style="list-style-type: none"> ・Itの特別用法、注意すべき疑問文について学ぶ。 ・英語と日本語の考え方の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Itの特別用法と注意すべき疑問文を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit7、8のItの特別用法と注意すべき疑問文を復習する。 (予習)・Unit9、10の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形と未来形について学ぶ。 ・時制を理解する(3)。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形と未来形の文を理解できる。 ・進行形と未来形の時制を理解できる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit9、10の進行形と未来形の文の作り方を復習する。 (予習)・Unit11、12の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の使い方とそれぞれの意味を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の使い方とそれぞれの意味を理解し、適切な助動詞を選んで文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit11、12の助動詞の使い方と意味を覚える。 (予習)・Unit13、14の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞・冠詞、代名詞の種類と役割を学ぶ。 ・人称について理解する。 ・単数・複数について理解する。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞・冠詞、代名詞の種類と役割、人称、単数・複数を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit13、14の名詞・冠詞、代名詞の種類と役割、人称、単数・複数を理解する。 (予習)・Unit15、20の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	<ul style="list-style-type: none"> ・前置詞の種類と役割、使い方を学ぶ。 ・接続詞の種類と役割、使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 (問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。)(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前置詞の種類と役割、使い方を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・接続詞の種類と役割、使い方を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。 	(復習)教科書のUnit15、20の内容を見直し、説明できるようにする。 (予習)・Unit16、17の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。(問題は、Googleクラスルーム上でも出す。) ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・形容詞と副詞の役割と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の考え方の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 （問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。）（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・形容詞と副詞の役割と使い方を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit16、17の内容を理解し、形容詞と副詞を使った文の作り方を確認する。 (予習)・Unit18、19の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・比較（比較級と最上級）に関する文の作り方と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 （問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。）（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・比較に関する文の作り方を理解し、文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit18、19の内容を理解し、比較に関する文の作り方を確認する。 (予習)・Unit21の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・関係詞に関する配布プリントを読み、問題をやってくる。 ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・受け身（受動態）の文の作り方と使い方を学ぶ。 ・感情を表す動詞の特徴を理解する。 ・関係詞の種類と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。（感情を表す動詞）	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 （問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。）（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・受け身（受動態）の文の作り方を理解し、文章を作ることができる。 ・感情を表す動詞を使った文の特徴を理解する。 ・関係詞の種類と文の作り方を理解する。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit21の内容を理解し、受け身（受動態）の文の作り方を確認する。 ・感情を表す動詞を使った文について確認する。 ・関係詞の種類と文の作り方を確認する。 (予習)・Unit22、23の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・不定詞、動名詞を使った文の作り方と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 （問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。）（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・不定詞、動名詞の形と意味を理解し、文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit22、23の内容を理解し、不定詞、動名詞の使い方を確認する。 (予習)・Unit24の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・分詞を使った文の作り方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 （問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。）（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・分詞の使い方を理解し、分詞を使った文章を作ることができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit24の内容を理解し、分詞の使い方を確認する。 (予習)Unit25の説明を読み、基本問題と発展問題をやってくる。（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・ミニテストの準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・現在完了形を中心に、完了形を使った文の作り方と使い方を学ぶ。 ・時制を理解する(4)。 ・英語と日本語の違いを理解する。	・前回学習したことの小テストを行い、解答・解説をする。 ・講義・演習 （問題を解いて、解説を聞き、本文を読む練習をする。フィードバックによって、できなかった部分をしっかり認識し、復習につなげる。）（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。） ・必要に応じてグループワークやディスカッション、発表を行う。	・完了形の形と意味を理解し、文章を作ることができる。 ・どんな時に完了形が使われるか、時制を理解して使うことができる。 ・小テストで60点以上をとる。	(復習)教科書のUnit25の内容を理解し、完了形の使い方と完了形がよく使われる場面を確認する。 (予習)・仮定法に関する配布プリントを読み、問題をやってくる。（問題は、Googleクラスルーム上でも出す。）	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・仮定法の作り方と使い方を学ぶ。 ・英語と日本語の違いを理解する。 ・総まとめを行う。	オンデマンドでの実施 ・前回学習したことに関する課題を行い、その後、ビデオにて解答・解説を聞く。 ・仮定法についてのビデオで、事前に予習した問題についての解答・解説を聞き、復習をする。 ・総まとめのビデオを見て、その後課題を行う。	・仮定法の形と意味を理解し、適切に文章を作ることができる。 ・課題を提出する。	(復習) ・仮定法のプリントの内容を理解し、仮定法の使い方と仮定法がよく使われる場面を確認する。 ・テストに備えて、全体を見直す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力